

試験時間

90分

注意事項

- 1 解答用紙に受験番号と氏名の記入を忘れないこと。
- 2 問題用紙、草稿用紙は解答用紙とともに机上において退出すること。持ち帰ってはいけない。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

そもそも医師たちは、何ゆえに「医」を目指すのであろうか。本当は、日本中のすべての国家試験にこの設問を設けたいものである。もちろん多くの大学の入試の面接でも、通り一遍には聞かれる。だが、私は本音をききたい。一体「医」を何と解釈して目指したのかと。

この質問を最近出合った多くの医師たちにたずねた。

およそ半数の人々が、医師の家に育ち医療を行う親を見て大きくなったと答える。それらの個々に詳細をたずねると、漫然と運命に身を委ねて流されたわけではなく、何か大きな動機がそこに存在したという人が多かった。そういう人だから現在指導的な立場にいるのかも知れない。

数多くのインタビュウの中で年配の医師がひとり、小学校時代から優等生であった自分は、教師からこの点数なら医学部合格間違いなしと言われ、「それもいいかなと、大した目的もなく医師になったと、正直に話してくれた。そして「表向きには、『ボクは小学校の時によんだシユパイターの伝記に感激して、以来医師を志しました』ということにしているの」と、肩をすくめていたずらっぽく笑う。

わが国では、難関といわれる医学部の門をくぐり、さて安心と適当に合格点だけを取り六年間を過ごして、国家試験さえクリアすれば晴れて医師免許証が手に入る。人に相対してその苦悩を診なければならぬ仕事であるという自覚の、あるなしを問われないまま医師になる。器械を上手に操り、結果のみを診て教えられた治療マニュアル通りに実践し、不都合が生じれば「患者の方がおかしい」と責任転嫁する。そういう医師群が、医療のミスを犯し、やり過ぎを引き起こしても不思議ではない。

人は出合い、そして別れる。一期一会、相まみえた人それぞれから、忘れがたい思いを残される。医療者と患者は濃密な対人関係にある。医は、人を相手とする仕事と、外科医上西紀夫は強調する。

彼の勤める東京大学医学部というところは、昔からエリートを育てる目的の教育機関のひとつであった。そこに集まる学生は、現在行われている勉強を点数に換算する安易な方法によると、全員がハイレベルであることに違いない。

教授たちもおそらく高い意識で学生を教えているのであろうが、果たしてそれらの人々すべてが人間としてあるべきあたたかさ、やさしさを共有しているかどうかは疑問である。これは何も東大だけでなく、すべての大学にいえることである。

学生や医師を教育する立場にある上西は、現在の大学には残念ながら医の倫理をきちんと教える人も機会も不十分だと考える。もちろん大学の教養部の段階では関連の講義があるが、医における倫理学は、本来実際に患者に接することで学んでいくものと主張する。

医学部教育のあり方が見直されはじめている今日、その一翼を担う上西は次のように話した。

「病棟でなるべく長い時間をかけ患者さんに接して、医療以外にもいろんな話をするように指導しているのですが、どうも人と話をするということができない子が多すぎます。はっきり言って対人関係が大変に下手です。」

医学とは関係のないいろいろな世間話ができるような経験の積み重ねが、子供のころからできていないのじゃないでしょうか。たしかに勉強はできるでしょうが、その他の体験、例えば医学以外の分野の音楽とか文学とか、スポーツにしろ、恋愛にしろ、一生懸命にやった経験がないんじゃないかと思えますよ。

結局、いろんな経験をした人の方が患者さんに対していいと思われそうです。

私は学生やレジデントに、患者さんに普段からいろんな話をしながら付き合っていくべきだと思います。そしてひとりの人として接していれば、何も取りたてて倫理などと言わなくても、患者さんのためになるうとか、患者さんのことを親身に思う気持ちになるのじゃないかと思えます。そうすることによって、患者さんのための医療ができる。ひいては医療ミスなど、起こらない。

何をやらしてもひとりでもできちゃうと思っている人間が集まっている場合、他とのコミュニケーションを取るのが下手です。医療はチームワークによって成り立ちます。ひとりでは何もできません。他を思いやって、よい対人関係を結ぶことのできる、幅の広い人間を育てなければならぬですね。それには中学、高校、そして大学もシステムを見直さなければならぬでしょう。(後略)

(比企寿美子著「がんを病む人、癒す人」中公新書)

問一 この文章に、二十字以内で適切なタイトルをつけなさい。

問二 本文で、著者が懸念を示している医師養成教育の問題点について二百字以内で述べなさい。

問三 本文の主旨をふまえて、あなたが「医」を志した理由を六百字以内で述べなさい。